

なんよう

議会だより

2012

7.16

第124号

『精力善用・自他共栄』
でがんばるぞ！

● 赤湯柔道スポーツ少年団



主な内容

6月定例会のあらまし	2
補正予算ピックアップ	3
予算特別委員会質疑	4～5
10人が市政をたず一般質問	6～10
新年度初の管内視察	12～13

新文化会館建設に向けて 議会も市民も意見を出し合おう！



6月定例会の あらまし

6月定例会が6月4日から21日まで18日間の会期で開催されました。初日は任期満了等にもなう教育委員会委員の任命、及び固定資産評価審査委員会委員、宮内財産区管理委員はじめ5つの管理委員の選任を審議し、いずれも同意しました。

その後、東北中央自動車道事業用地として大洞山財産区有地の売却処分案件（売却価格約3392万円）を可決し、条例案1件は所管の委員会に付託しました。一般会計補正予算1件はじめ特別会計補正予算6件は提案説明をうけ予算特別委員会に付託しました。

7日、8日は新人議員4人を含む10名による一般質問が行われ、財政や福祉、新文化会館建設等に対する当局

の考えをただしました。

18日は予算特別委員会が開催され、補正予算案7件を審査しました。総合文化会館建設基金積み立てに対しては、反対意見も出されましたが、7件いずれも原案通り可決しました。

最終日の本会議では、常任委員会に付託された1案件と2請願の審査結果が総務、文教厚生常任委員長より報告されました。その中で公的年金を2.5%引き下げることに反対する請願が不採択になったことに対し、反対の意見があつたため起立採決の結果、不採択となりました。また、ロータリー除雪車を購入する追加議案が出され、原案通り可決しました。

新文化会館建設検討 特別委員会

委員長あいさつ

4月臨時会の議員発議により、新文化会館建設検討特別委員会設置を全会一致で可決し、6名の委員が選任されました。最大の目的は、市民の皆様方が納得できる新文化会館建設であります。当委員会としても、期待に応えられるよう、慎重に検討してまいる所存であります。

委員長 伊藤 俊美
副委員長 梅川 信治
委員 白鳥 雅巳
高橋 弘
板垣致江子
佐藤 明

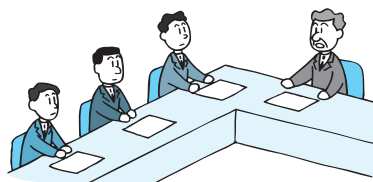
これまでの経緯

第一回 4月20日
正副委員長の互選
第二回 5月8日
財政状況について
第三回 5月21日
現市民会館の現況に

ついて
第四回 6月22日

市民参加の方策及び市民懇談会の役割について
この課題については、これからもシリーズとして掲載していきます。

基本構想等市民懇話会



6月1日の市報で募集した「基本構想等市民懇話会」の委員が決まりました。今後月2

回数程度の話し合いを予定しております。この懇話会は、市民の皆さんに参加いた

きながら、新文化会館のコンセプト（理念）、運営方法、機能、仕様等の検討を行うものです。

一般公募委員、市内の芸術文化団体、アドバイザーにより検討を進め、9月頃までに基本構想、基本計画の素案を作成します。

その後、設計者を選定し、懇話会と意見交換を行いながら、市民の意見が反映された基本設計を策定する予定です。



さくらんぼ施設

さくらんぼ施設整備支援事業

3252万円

さくらんぼ生産施設の新設等を実施する農業者組織への補助で、対象事業は次のとおりです。

- 高生産性雨よけ施設及び防風ネット等の新設
- 既存雨よけ施設から高生産性雨よけ施設へのグレードアップ等

24年度補正予算

3億383万円

ピック★アップ

総合文化施設整備基金積立

2億900万円

総合文化施設整備基金積立金に、6月補正で平成23年度繰り越し見込み額のうち、2億900万円積み立てました。これにより基金総額は、4億1884万7千円となりました。



現市民会館



ハイジアパーク南陽

風力・太陽光発電設置

4200万円

ハイジアパーク南陽に設置する風力・太陽光発電は、大災害が発生した場合に、避難所としての機能をもたせるため、国の基金事業を活用し、照明、テレビなどの電源確保を目的に設置します。

その他の主な事業

1 赤湯学童整備	50万円	8 赤湯駅電子観光案内板	71万円
2 放課後児童クラブ補助	57万円	9 消防団緊急伝達システム	100万円
3 避難者向け情報提供	18万円	10 原子力教育備品	99万円
4 浄化槽水環境保全補助	716万円	11 幼稚園臨時職員費	542万円
5 飲料水放射性物質検査	7万円	12 妹背の松保存活用	50万円
6 緊急稲わら確保事業	145万円	13 埋蔵文化財普及推進	500万円
7 農業体質強化基盤整備	130万円	14 ライフル射撃場修繕	669万円

0歳児保育の対応は

板垣致江子議員

〈板垣議員〉0歳児の入所ができなくなっているが、市はどう考えているか。

〈福祉課長〉0歳児の施設を整備したいという民間事業者もおり、市の施設も確認しながら検討したい。

〈板垣議員〉こころ3ヶ月のところで行っている。市で保育ママの事業に取り組むことは考えていないか。

〈福祉課長〉①やる方を探し、育成しなければいけない。②無認可保育園でも0歳児を預っている。

今後民間施設と協力しながら待機児童を少なくしたい。施設は1、2年でメドをつけたい。

〈板垣議員〉新潟県燕市との文化的交流はあるが、観光的交流はどうなっているか。

〈商工観光ブランド課長〉今年度は、菊まつり開期中に燕市の物産市を開いていただくことで話を詰めている。また、10月7日予定の燕青空即売会で南陽市の物産ブースを準備しPRしたい。

〈板垣議員〉燕市は温泉がないので、赤湯温泉にぜひ来ていただき



ひよこプラザ（赤湯乳幼児保育センター）

たいので、PRをがんばってほしい。

どう活かす 市民懇話会

佐藤 明 議員



市役所南側の文化会館建設予定地

〈佐藤議員〉新文化会館の基本構想、基本計画を検討する基本構想等市民懇話会に、現在何人応募されているか。また、何回くらい開催されるのか。

〈市長〉月2回程度で来年の3月まで10回、15回くらいと考えている。

〈文化会館推進主幹〉現在3名の応募がある。

〈佐藤議員〉有識者会議は今後どうなるのか。

〈市長〉有識者会議で

作成したタタキ台を懇話会の中で積み上げていき、確かなものに構築していくということになる。

〈佐藤議員〉総合文化施設整備基金も懇話会で議論した上で議会に提案すべきではないか。

〈市長〉財政問題については懇話会と切り離し、伸び伸びと協議して、良いものができるようにしたい。

予算特別委員会

梨郷総合公園の 利用率を上げるには

船山 利美 議員

〈船山議員〉 梨郷の総合公園の利用状況はどうなっているのか。

〈スポーツ文化課長〉

昨年延べ2282人

だった。

〈船山議員〉 せっかくの施設なので、高校・大学の合宿等への営業とか、もっと利用率が上がる方法・方策はないか。

いのか。

〈スポーツ文化課長〉

現在、旅館協同組合とも協議しているが、市内のスポーツ施設を利用した合宿メニューの検討を進めている。

〈船山議員〉 龍樹山周辺整備で総合公園周辺は活性化している。それらと抱き合わせた事業等での利用をもっと考えてもらいたい。また、借用方法も公民館に申請するなど簡素化や利便性を良くし、借りやすい状況にできないか。

〈スポーツ文化課長〉

現在、市民体育館に向いての申請やホームページからの空状況によって申込みされている。公民館からの申請等については社会教育課と協議していきたい。

〈山形議員〉 大野平キャンプ場の素晴らしい所だが、展望台から眺める山並みの雄大な景観が、成長した木々に遮ぎられている。整備を考えているか。

〈スポーツ文化課長〉

状況は掌握しているのですが、今後所有者と協議して対応していきたい。

〈山形議員〉 素晴らしい環境の施設であるので小学校6年間で、1回くらいキャンプをして、様々な体験をしてはどうか。

〈スポーツ文化課長〉

状況を調査して、今後検討していきたい。



利用率向上が望まれる総合公園

- ・大野平キャンプ場の
景観整備を！
- ・向山ソフトB球場に
簡易トイレ設置を！

山口 正雄 議員



素晴らしい環境の大野平キャンプ場

〈学校教育課長〉 小学校では地域の良さを活かすべく、野外活動としての宿泊訓練、キャンプ等を行っているが、現在検討している学校があるかを調べてみる。

〈山形議員〉 向山ソフト球場Bコートのトイレ設置について、昨年の一般質問の中で、大会時には簡易トイレを設置すると答弁があったが、現在どうなっているか。

〈スポーツ文化課長〉

状況は調査して、今後検討していきたい。

答 弁 要 旨

社会教育について 「教育のまちづくり」の構築は

船山 利美 議員



◎青年・女性団体の組織化について、その経緯や達成状況等はどうかになっているのか。

〈市長〉「青年教育推進事業」をきっかけに青年・女性の地域活性化に向かう動きがあり、より実践的で持続的な活動につながるため、行政として支援している。具体的には、「青年女性組織活性化モデル事業」を立ち上げ、地区の仲間や公民館と一緒に活動の地域活動の参画支援をする。

◎各公民館から出された「教育日本一のまちづくり」を全国に発信する事業計画書をどのように活用し実践しているのか。

〈市長〉地域づくりを積極的に推進するため各地区公民館の運営委員会を中心に、地域に応じた特色ある地域づくり事業を展開している。今年度は宮内地区・沖郷地区・金山地区の3事業を選定し実施する。今後も地域づくり事業交付金を活用し積極的に推進する。

◎平成23年度より3公民館に一般職員が配属され、一般職員にのみ時間外手当が支給されているが嘱託職員には支給できないのか。

〈市長〉一般職員は給与に関する条例等、嘱託職員は非常勤嘱託職員取扱規程に基づき、適切に給与等の支払いを行っている。

◎公民館嘱託職員の労務管理はどのようにしているのか。

〈市長〉規程により、公民館嘱託職員の勤務時間は中央公民館長が割振りを行い、適正に管理しているのでご理解を賜りたい。

◎今後の見込まれる大型の事業は。

白岩 孝夫 議員



実質公債費比率を改善し 県内ワーストからの脱却を

◎現在の本市の財政状況に関する認識は。

〈市長〉財政の健全化を示す指標の一つである実質公債費比率は、平成18年度の22.7%をピークに、22年度には20.3%と改善している。適切に財政運営をしていると認識している。

◎しかし、22年度の実質公債費比率が県内で最も高かった。東北で8番目、全国でも61番目に高い。南陽ブランドへのイメージ戦略もあるが、どう対処しているのか。

〈市長〉何番目という順位や、財政指標にこだわるのではなく、市内の経済への配慮も含めて全体を見てほしい。

◎第二次行財政改革大綱の基本方針に「持続可能な行財政基盤の確立を目指す」とあるが、

どのような状態を指して確立されたとするか。

〈市長〉財政運営は歳入と歳出バランス。適切なバランスがとれた状態を指す。

◎今後見込まれる大型の事業は。

〈市長〉新文化会館のほか、新産業団地の準備や公営住宅機能の整備が平成32年までの懸案と考える。

◎今後の見通しとしては3ヶ年財政計画があるが、厳しいものになったとしても「お茶の間財政室」などを開催して10～20年の長期見通しを市民に示した方が市政への信頼が高まる。対処方針は。

〈市長〉市債残高を減らし、財政指標の改善に心していく。3ヶ年を越える長期的な見通しは適宜、必要に応じてお知らせする。

市政全般、道路・市税・再生可能エネルギー政策は



高橋 弘 議員

◎24年度の施政方針の
中に再生可能な地域エ
ネルギーの導入推進等
研究を重ねるとあるが。

〈市長〉昨年3月の福
島原発の事故を踏まえ
再生可能エネルギーの
導入研究は、原発依存
からの脱却のみならず、
危機管理上も大変重要
だ。中でも太陽光や風
力、木質系バイオマス
によるエネルギーのベ
ストミックスは、本市
の特徴を踏まえた解決
策の一つと心得て、ハ
イジアパークに太陽光
や小型風力発電装置等
の設置を提案した。更
には森林資源に恵まれ
ているため木質系バイ
オマスの有効利用につ
いて、新エコタウンプ
ロジェクト研究会が調
査研究を進めている。

◎平成30年東北中央道
完成予定で、今まで以
上の車乗り入れを見込
まれるが対策は。

〈市長〉本市では現在
白竜湖付近の試験盛土
工事が行われており、
今秋から本体工事が本
格的に始まる。今後は
市街地や主要観光施設
へ円滑に案内するため
の、サイン施設等の整
備に取り組み。観光面
においては、旅行者の
パーソナル化が進み、
マイカーでの旅行形態
も多くなっており、そ
れらを踏まえ本市では
着地型旅行商品の開発
や、街なか歩きを楽し
んでいただけの施策も
行っている。

◎市税収納政策は。

〈市長〉本年5月から
コンビ二収納を開始し
た。県内で全税目を実
施するのは本市が初と
なっている。収納率向
上も期待している。す
でに郵便局でも納付可
能となっている。



川合 猛 議員

通学路の安全点検は

◎全国で連続して多数
の死傷者が出るなど通
学途中の交通事故が発
生している。南陽市内
でも信号無視の車に女
子児童がはねられるな
どの事故が起きている。
どうやって児童・生徒
を守るのか大きな課題
と思う。通学路の安全
点検、各学校ごとの指
導、今後の対策は。

〈教育長〉毎年、各小
中学校で通学路の安全
点検を行い、特に危険
が予想される箇所は教
育委員会を取りまとめ
国、県、市、その他関
係機関に改善の要望を
出している。平成23年
度は、秋に集計し、全
小中学校区の危険箇所
で、報告のあった箇所
のうち、改善の必要が
あるということで、国
土交通省へ2件、置賜
総合支庁道路計画課へ
10件、市道関係は市建
設課に、信号機設置要
望や道路の白線の引き
直し等の要望について
は、市民課を通して南
陽警察署へ改善の要望
を行った。

平成24年度は通学路
の危険箇所の点検を4
月に前倒しして行い、
新規に要望の出たもの
は11件で、その多くは
白線の引き直しや市道
の幅が狭い等の改善要
望となっている。

交通安全指導につい
ては、今年度当初、京
都府で登校途中の子ど
もたちの列に車が突っ
込むという事故等もあ
り、各学校へ指導の強
化を行った。特に交通
安全教室の早期実施、
通学班への指導の重点
化、教職員やPTA等
での立哨を行うなど、
現場での具体的な指導
を行い、地域と連携し
ながら取り組んでいる。

若者に仕事と安定を!!

山口 正雄 議員



◎今、市内には675人の求職者がいる。具体的な雇用対策は。

〈市長〉雇用創造推進事業では1市2町で68人、緊急雇用事業では70人の雇用創出を見込んでいる。また、既存企業の受注拡大にも積極的に取り組んでいく。
◎低賃金かつ不安定な非正規雇用者比率は15歳〜24歳の男性で49%と高い。非正規雇用者の正規雇用化について市の考えは。

〈市長〉非正規という雇用形態は、社会的格差の増大や少子化など、地域の将来に大きな影響を及ぼす課題と認識している。既存企業の受注拡大や景気対策を行うとともにハローワーク等の関係機関、団体と連携して正規雇用への就職支援等に積極的に取り組んでいく。

◎企業誘致目標の設定と今後の活動をどのようにしていくのか。

〈市長〉現時点で明確にできないが、団地計画は適地選定を進め、規模や財源、整備手法等を整理、検討し、必要な努力をしていく。
◎今年度候補地を選定しつつ造成するのか。

〈市長〉塩漬用地になるリスクは避けたい。誘致に一定のめどが立った段階でということになる。ただ、一気にすべてということではなく、順次進めていきたい。緊急時には何とすることも対応できるように努力していく。
◎企業誘致の優遇措置を見直す考えはないか。
〈市長〉誘致の最大のポイント是人材確保だ。優遇措置は相手企業に合わせて、必要な措置を考えていきたい。

健康寿命をいかに延ばすか

介護サービス利用者は

全高齢者の約15%

吉田 美枝 議員



◎介護保険料の上昇をおさえる手立ては。

〈福祉課長〉介護給付の伸びは保険料の上昇に直結する。いかに健康を維持していくか、介護予防対策の推進がカギとなる。

◎訪問看護等在宅での医療的管理を必要とする介護体制が不十分。医療と介護をつなぐ入所施設も少ない。このままでは路頭に迷う家族が増えるのではないか。

〈福祉課長〉看護師確保が現実的に難しい状況にある。出産・育児等で職場を離れた元看護師の再雇用を促す等方策を考えていく。新たな施設整備は難しい。医療の退院支援担当職員と連携を図りながら、特養の地域密着型施設と老健施設の増床で何とか対応に努めていく。

◎介護のストレス等から高齢者虐待に結びつくケースもありうる。介護者が気軽に立ち寄り、語り合える居場所づくりを考えて欲しい。

〈福祉課長〉地域包括支援センターを中心として、情報収集に努めながら総合的な対応を検討していきたい。

◎特別支援の対象となる子どもの数が増加している。発達障がい児に対する特別支援教育の現状と課題は。

〈教育長〉各校に特別支援教育コーディネーターを配置し、保護者や関係機関との連絡調整を図っている。集団での適応力や自立心を育むなど、その障がいの特性に合わせた学習が行いやすいよう配慮している。



片平 志朗 議員

どうなった 学校林間伐問題 学校林の整備と活用を急げ!



間伐しすぎて倒木が目立つ
旧吉野中学校林

◎事件以来3年経過しているが真相解明と損害賠償はどうなっているのか。

〈市長〉昨年8月に報告した以上の事実解明はない。5月4日に関係者の一人から損害額相当の送金があった。

◎学校林の有効活用と条例の改正については、

〈市長〉先人達が未来の子どものために育ててくれた貴重な財産である。環境教育や体験学習の場、地域交流の

場として活用されるように検討していく。そのためには今年度調査を行い、実態を把握してまいりたい。また条例の改正については、現在の基金設置、管理、処分の条例は極めて限定された内容になっている。各学校林の実態を勘案して、整備計画と含めて検討していく。

◎その他の質問
・生活保護の適正化について



白鳥 雅巳 議員

危険を排除し、 安全で安心な街づくりを

◎登下校時の安全確保について。

〈市長〉現地指導を徹底し、具体的に危険箇所を教えながら、児童生徒の交通事故の未然防止に努めている。また道路環境も変化しているのので、通学路の変更も踏まえ、さらに各地域のご協力を賜りながら、子どもたちの安全確保に努めていく。

◎交通事故撲滅に向けた活動、取り組みについて。

〈市長〉中学生が学区内の小学生の安全を守る運動が生まれており、ドライバーのマナー向上と交通安全への願いを込め、現在も主体的な運動が展開されている。また、PTAや関係機関との連携強化を図り、地域全体で見守る体制強化に努める。

◎空き家に関し、行政

の関わりや対策は。

〈市長〉近隣住民の生活に不安や危険を及ぼす可能性がある管理不全な空き家については、所有者等に管理の徹底を指導していく。

◎これからも増え続ける空き家対策に、条例の制定が不可欠になるのではないか。

〈市長〉管理不全な空き家については「良好な景観の阻害」、「生活環境への阻害」、「安全な生活の阻害」という問題が生じており、重要な行政課題となっている。今後は、庁内関係課による検討委員会を設置し、条例制定の必要性を含め検討していく。

◎その他の質問
・人口減少に歯止めする施策について
・結婚推進室の活動について

新文化会館の課題を問う!!

市民が知らないままに

進んでいないか

高橋 一郎 議員



◎場所・規模・時期は?

〈市長〉 決定しているのは建設用地（市役所南）のみで、規模や建設時期等について、具体的にはこの7月から新文化会館基本構想等市民懇話会で広く市民の意見をお聞きしながら、基本構想・基本計画の策定を行う。

◎アクセス道路を整備しても東に抜けられない土地では国道113号の渋滞や事故を誘発しないか。

〈市長〉 今後具体的に検討する基本計画と併せた中で、ご指摘を充分反映させていきたい。

◎財政面は大丈夫か。

〈市長〉 ランニングコストは年6千万円と見ている。アクセス道路は、できるだけ現行予算内で対応する。現市民会館の取り壊し費用は跡地利用の内容によ

り違うが、地元の意見をお聞きしながら、今後の課題と捉えている。

実質公債費比率は、確かに県の許可が不要の18%未満は理想だが、18%以上でも25%未満であれば自立を損なわないし、23年度決算では20%以下となる見込みだ。これまでの経験値から一般財源をいかに圧縮できるかで大きな事業にも取り込むことができると確信している。他の事業への影響については、通常ベースでの予算を確保しているの、特に影響はないと考える。いづれにせよ、財政計画を立てながら、優先順位をつけ、邁進する。

◎市民の参加について

〈市長〉 市民懇話会の意見を設計に反映して、運営面にも発展することを期待する。

就学援助制度の拡充を!!

佐藤 明 議員



◎「給食費が支払えない」「学校への支払が滞り、子どもが学校に行けない」など、深刻な実態が報告されているが、教育費等を補助する制度になっているのか。

〈市長〉 市としては、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して「市の就学援助要綱」を制定し、国の基準に準じた形で援助している。

◎小泉内閣の「三位一体改革」の強行で就学援助に対する国の補助金が大幅に削減され、

準要保護世帯に国庫負担金を廃止し、用途を限定しない交付金として一般財源化したため、各地で就学援助の縮小が始まっているがどのように対応するのか。

〈市長〉 制度の充実は国の援助は必要不可

欠で、今後も国庫補助復活を県市町村教育委員会協議会等で、他自治体と連携しながら要望していきたい。

◎避難者は二重生活で、経済的に大変な日常生活を送っているが、市の対応策は。

〈学校教育課長〉 二重生活に係る経費等に対しては、総合的に判断をして対応して参りたい。

◎雇用促進住宅の冷房器具の設置の考えは。

〈商工観光ブランド課長〉 4月に社名が変更になり、一般財団法人SK総合住宅サービス協会が管理している。エアコンの設置については、避難者の希望者に対し、一世帯一台で貸与している。

再生可能エネルギーへの 転換を求める

常任委員会 審査報告

南陽市農村地域工業
等導入地区固定資産税
免除条例を廃止する条
例の設置について

南陽西工業団地にお
ける固定資産税の課税
免除措置の適用期限が
終了したため、廃止す
ることを賛成多数で可
決した。

**脱原発社会に向けた
エネルギー政策の転換
を求める請願について**

昨年3月11日の東日
本大震災による福島第
一原子力発電所の事故
により、多くの住民が
住み慣れた家、職場を
追われ、長期にわたる
避難生活を余儀なくさ
れ、健康被害に怯えな
がら、今なお不安な生
活を強いられている。こ
うした現実、人類と
核との共存が困難であ
ることを物語っている。
また、吉村県知事は

生可能エネルギーへシ
フトする新たな山形県
のエネルギー戦略を策
定している。

審査の結果、「脱原発
社会に向けたエネル
ギー政策の転換を求め
る意見書」を政府関係
機関に提出することを
決定した。

意見書への記載事項

- (1) エネルギー政策を原
子力発電依存から可能
な限り再生可能エネル
ギーへと変換すること。
 - (2) 原子力発電所は、建
設中のもも含め新た
な建設や増設は行わな
いこと。既存の原子力
発電所については、停
止中の炉は再稼働させ
ないこと。
 - (3) 放射能の汚染処理に
万全を期すと共に、放
射能情報を随時国民に
公表すること。
- (委員長 吉田 美枝)

文教厚生常任委員会

意見書提出は見送り

安定的で持続可能な年金制度の維持のため



安心して老後を送れる社会保障を

抱いている。

世代間の公平を考え
ると、安定的で持続可
能な年金制度を維持し
ていくためには、今の
年金水準のずれを解消
していくのは必要なこ
とである。

高齢者にとって、命
の綱である年金を1円
でも下げられることは
身を削られる思いであ
ることは理解できるが、
今の社会全体からみる
とこの引き下げはやむ
を得ないのではないか
委員から、いろいろ
意見が出されたが、

一方、平均寿命が延
び、給付金額が毎年増
加している。また、若
者の80%が将来の年金
に対して大きな不安を
抱いている。

委員会としての意見書
提出は行わないことと
した。

(委員長 高橋 弘)

「公的年金の給付を
2.5%引き下げること
は行わないこと」につ
いて意見書提出を求め
る請願を議論する。

人はいつまでも働け
ないことから、誰もが
その年齢になったら年
金を受けられるという、
安定的な年金制度にす

広域化後の 消防体制

常任委員会 視察レポート

5月15日、小雨の中、総務常任委員会管内視察に出発。

置賜広域行政事務組合消防本部

新たに整備さ

れた高機能消防

指令センターを

視察。指令台で

は119番通報

の場所が地図上

に表示され、車両に搭

載されたGPS機能と

併せ、情報の共有化を

図り、活動の迅速化と

高度化を実現した。

視察中、救急車の出

動要請の連絡が入り、

現場に緊張感が走る。

会を代表し、遠藤、

白岩両委員がはしご車

に搭乗。地上35mの醍

醐味を体験する。

国交省東北地方整備局

山形河川国道事務所南

陽出張所

ハザードマップの作



置賜広域行政事務組合
消防本部内の高機能消防指令センター

成技術支援や、洪水時に迅速、的確な避難を支援するための情報提供を行っている。最上川の水位情報等をリアルタイムに確認できる河川カメラの画像操作を体験する。

最上川水防演習会場

5月27日実施される

東北一の規模の水防演

習会場の下見。ここで

展開される水防技術競

技大会での南陽市水防

団の活躍を祈念する。

(委員長 吉田 美枝)

文教厚生常任委員会

耐震補強後の学校の様子は

5月21日、文教厚生常任委員会の管内視察を行った。

沖郷小学校

今年で創立117周年を迎える沖郷小。新

しくなった教室で、各

学年伸び伸びと授業を

しており、耐震補強の

成果なのかと感じた。

漆山小学校

漆山小は昨年秋、

教室の工事が終わり、

体育館はまだ足場が

残っている状態だが、

耐震補強されたすばら

しい体育館に生まれ変

わっていた。漆山小も、

この春の卒業生が35名入学生が15名と少子化が進んでいるとの説明

補強後の各教室は明るく、落ち着いて勉強で

きる印象だった。今年

度中にはグラウンドの

整備も完了するとのこと

で、更にすばらしい

学習環境が出来上がる

と感じた。

置賜総合病院研修施設

病院北側駐車場にて

きた、研修医30名の居

室と当直室、及び研修

会議棟を備えた建物。

置賜二次保健医療圏の

役割を果たすための研

修施設であるとの説明

であった。

(委員長 高橋 弘)



耐震補強で子どもの安全を確保

※置賜二次保健医療圏…特殊な医療を除く、入院治療を主体とした一般の医療需要に対応するため医療法により設定された区域。置賜二次医療圏は置賜三市五町の圏域

産業建設常任委員会

アンテナショップの 状況を見る



店内には直送の新鮮野菜等がならぶ
イオン仙台中山店

5月23日、3ヶ所の管内視察を行った。仙台アンテナショップイオン仙台中山店の同ショップの陳列、販売スペースは、品目、品数とも南陽産品をPRするのに十分な数を揃えている。雰囲気も明るく、購買意欲が高まるようなつくりであった。生産者の顔写真を飾る等の工夫も良いのではとの意見が出された。

揃えている。雰囲気も明るく、購買意欲が高まるようなつくりであった。生産者の顔写真を飾る等の工夫も良いのではとの意見が出された。

ツラ、トチノキなど、4年間で1万772本を植樹。総参加数590人を数える。吉野森林交流センター木造平屋建て、構造材である木質合板等には、吉野地区産の杉材が84%使用されている。床下には吉野地区で作った炭を調湿炭として使用。研修室、会議室など9室があり、地域住民の交流拠点となるような活用が望まれる。

吉野石膏の森 平成20年度から10年間、総事業費1億円で整備する。吉野石膏の森は約26ha、5つのエリアで構成され、植栽事業、森林学習、生態系の観察などのコンセプトを設けている。事業開始以来、ブナやカ

（委員長 白鳥 雅巳）

開かれた議会をめぐり、議会広報活動の向上を図ることを目的に川西町議会広報常任委員会を視察。川西町議会だよりは、全国町村議会報コンクールで2年連続「優秀賞」を受賞している実力議会である。当日は委員長はじめ4名の委員が迎えて下



川西町役場での研修

さり、各委員のお話から、町民の目線で議会報に携わる熱い思いが伝わってきた。また一般町民から公募した5名のアドバイザーが文章や写真をチェックしており、編集体制が充実していた。各地区にはモニターさんがおり、議会に対する意見や感想を寄せていただくなど、次号につながるフォローアップ体制も整っていた。 当市の議会報が、市民の皆様との太いパイプ役となるよう、このたびの研修視察から学んだことを生かしていきたい。

（委員長 片平 志朗）

議会報編集委員会

「かわにし議会だより」に学ぶ



表紙の写真

精力善用

自他共栄

柔道の創始者、嘉納治五郎先生の言葉「柔道によって身体、精神を鍛錬修養し、その力を善用し」ことに補益する」ということです。

私たち赤湯柔道スポーツ少年団は、現在3名の少数精鋭で週2回活動を行っております。

赤湯柔道会を母体として長い歴史と伝統を誇り、今まで各種大会で好成績を残してきました。

議会報告 置賜広域行政事務組合

5月18日、5月臨時会及び全員協議会が開催され、次のことが決定されました。

◎議長に当市の遠藤榮吉議長が選任されました。

◎ゆるっとのパークゴルフ場が1コース増設されます。また休憩所も建設されます。財源は余熱利用施設整備基金が使われます。

金が使われます。

◎ゆるっとの23年度利用者数は約9万人（前年度より1万人増）

◎パークゴルフ場の23年度利用者数2744人（前年度2270人）

◎放射線物質の自主測定について
クリーンセンターから排出されるばい塵及び焼却灰、排ガス等を検査した結果、いずれも規制値以下でありました。

（置賜広域行政事務組合議員 片平 志朗）



増設予定のゆるっとパークゴルフ場

議会報告

置賜広域病院組合

置賜広域病院組合議会の24年5月臨時会が5月31日、南陽市議会議場で開かれ、空席となっていた議長に南陽市議会の遠藤榮吉議長、議会運営委員に殿岡和郎議員を各々選任しました。



また、診療報酬改定の基準や患者動向の変化に対応するため、診療科目に新しく「消化器内科」と「消化器外科」。南陽病院事業の診療科目に「脳神経外科」を追加する専決処分案のとおり承認しました。

編集後記

小さな恋人さくらんぼの甘酸っぱい季節も終わり、本格的な夏がやってきます。節電意識も高まってきましたが、熱中症にならない程度にしたいものです。さて、新メンバー（6名の委員のうち4名が新人議員）により編集した初の議会だよりをお届けしましたがいかがだったでしょうか。

市民の皆様が見やすく読みやすいように1頁を1段10字の6段にし、見出しもわかりやすいようにしました。写真をもっと増やし、市民の皆様の様子をシリーズで紹介するなど、工夫を凝らして身近な議会だよりにしていきたいと思えます。

ご意見、ご感想などありましたら議会事務局

局、議会報編集委員会

（☎40-3211内線309）までお寄せ下さい。

なお、9月定例会からインターネット中継を試験実施し、12月定例会から世界中どこでもだれでも見れるようになります。

編集委員長 片平志朗

副委員長 山口正雄

委員 白岩孝夫

高橋一郎

船山利美

吉田美枝



全国市議会議長会表彰おめでとうございます

全国市議会議長会表彰を受けた伊藤俊美議員、桑原仁氏誠におめでとうございます。

議長、副議長の重責を担われたご労苦に深甚なる敬意と感謝の意を表します。

6月定例会本会議場において遠藤榮吉議長より伝達されました。

伊藤俊美議員には社会文教委員会委員としての感謝状も贈呈されました。

正副議長
在職6年



伊藤 俊美
議員

副議長
在職4年



桑原 仁氏